

# 都立公園・庭園で春を探そう！

※庭園・植物園（★がついているもの）は、入場料が必要です。

**1 小金井公園**

園内には、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラなど 50 種類、約 1,700 本の桜が見られ、隣接する玉川上水の「名勝小金井桜」と共に桜の名所となっています。多彩な桜が春を彩ります。


☎ 042-385-5611  
 JR 中央線「武蔵小金井」から西武バス「小金井公園西口」下車、関東バス「江戸東京たてもの園前」・「小金井公園前」・「スポーツセンター前」下車



**3 舎人公園**

舎人公園には、既存の桜が 300 本、平成 16～19 年度の「舎人公園桜の森づくり事業」により植えたものが 700 本、合わせて千本桜と呼ばれています。アメリカのポトマック河畔から日本に里帰りした「レーガン桜」は、特に有名です。公園内には桜の品種も多く、見ごたえがあります。


☎ 03-3857-2308  
 日暮里・舎人ライナー「舎人公園」下車徒歩 1 分  
 東武スカイツリーライン「竹ノ塚」西口から東武バス（入谷循環）「中入谷」下車  
 東武スカイツリーライン「西新井」から足立区コミュニティバス舎人団地行き「舎人公園東」または「舎人公園駅」下車



**2 井の頭恩賜公園**

井の頭恩賜公園の池の周囲には約 250 本の桜があり、池の上に枝を広げています。池の中央の七井橋からは、池を取り囲んで見事に咲き誇る桜を一望することができます。

☎ 0422-47-6900  
 JR 中央線・京王井の頭線「吉祥寺」下車徒歩 5 分  
 京王井の頭線「井の頭公園」下車徒歩 1 分



**都立公園等のさくら開花情報を提供します。**

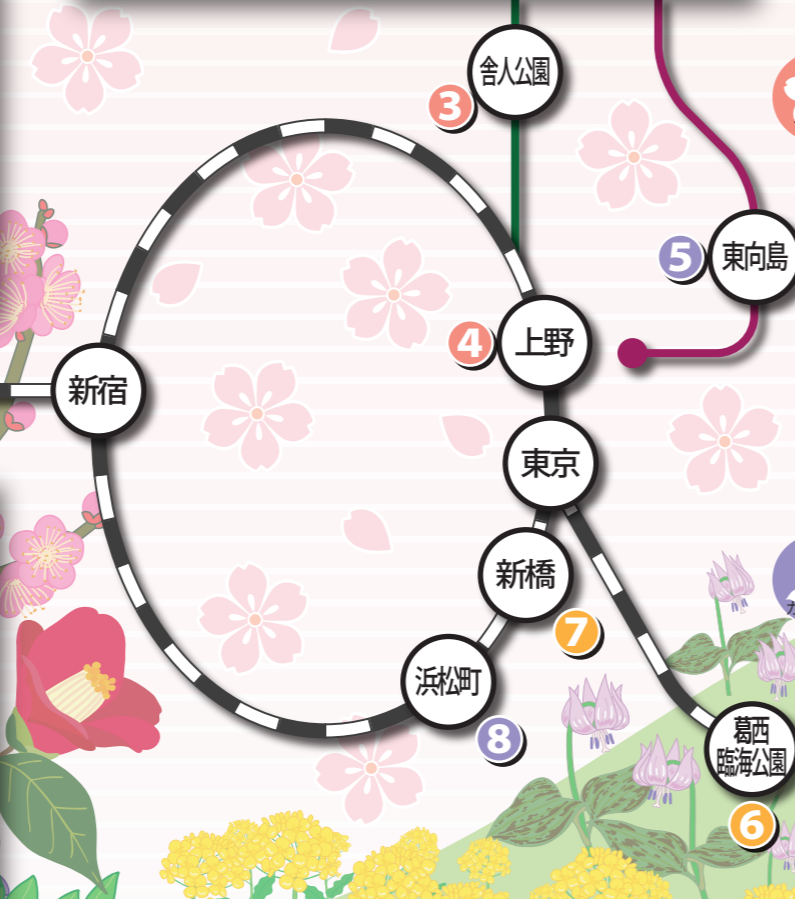
お花見にお出かけの際は、ぜひご利用ください。

**期間**  
 3月15日(金)～4月12日(金)

**電話による対応**  
 公園緑地部計画課 03-5320-5372  
 (土曜・日曜・祝日を除く9時から17時まで)

**ホームページ** (3月15日(金)10時から)  
 (公財) 東京都公園協会 <http://www.tokyo-park.or.jp/>  
 東京都建設局 <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>

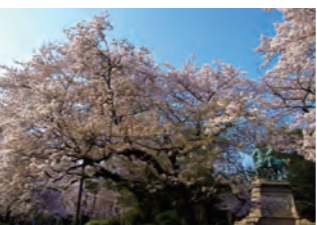
**1 武蔵小金井**



**4 上野恩賜公園**

上野の山が桜の名所になったのは寛永年間(1624～1644年)からで、寛永寺を創立した天海僧正が山内の各所に桜を植えたのが始まりです。園内だけで約 800 本、動物園、寛永寺清水堂、東照宮など含めると全部で約 1,200 本の桜が植えられています。

☎ 03-3828-5644  
 JR・地下鉄銀座線・日比谷線「上野」下車徒歩 2 分  
 大江戸線「上野御徒町」下車徒歩 5 分  
 京成線「京成上野」下車徒歩 1 分



**9 神代植物園 ★**

園内のはなもも・むくげ園では、相模枝垂、源平枝垂などハナモモの 10 品種 30 本が植えられており、3 月下旬～4 月下旬頃、見頃をむかえます。同じく園内のつばき・さざんか園では、江戸橋や肥後橋など古くから伝わる名花 260 品種が咲き、様々な色や形の花を楽しむことができます。


☎ 042-483-2300  
 京王線「調布」または「つつじが丘」からバスで約 15 分  
 JR「三鷹」または「吉祥寺」からバスで約 25 分  
 いずれも「神代植物園前」下車



**5 向島百花園 ★**

カタクリは里山に春を告げる花として親しまれており、百花園では開園当初の江戸時代後期より植えられていた記録があります。3 月下旬頃にカタクリが咲くと、園内の植物が次々に芽吹き始め、5 月頃までいろいろな種類の草花を楽しむことができます。


☎ 03-3611-8705  
 東武スカイツリーライン「東向島」下車徒歩 8 分  
 京成電鉄押上線「京成曳舟」下車徒歩 13 分



**8 旧芝離宮恩賜庭園 ★**

4 月下旬から 5 月上旬にかけて、フジの花が開花します。園内の 2 本の古木に 1m30～50cm くらいの綺麗な紫色の花が咲きます。気候が暖かいこの頃は、アヤメ、ツツジ、サツキ、カキツバタ等の他の花も開花期となるため、散策におすすめの季節となります。


☎ 03-3434-4029  
 JR 山手線「浜松町」北口下車徒歩 1 分  
 都営大江戸線・都営浅草線「大門」下車徒歩 3 分



**7 浜離宮恩賜庭園 ★**

昨年 11 月中旬、約 3,000 m<sup>2</sup>のお花畑に寒咲きの菜の花の種、「黒川」と「伏見」をまきました。2 月下旬にはほぼ咲きそろいます。見頃は 3 月いっぱい。30 万本の菜の花が織りなす黄色いじゅうたんは圧巻です。


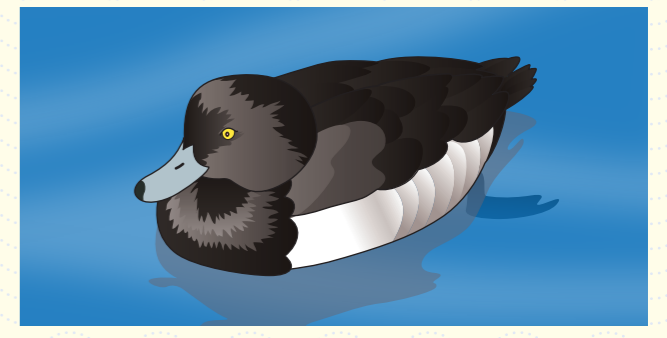
☎ 03-3541-0200  
 都営大江戸線「汐留」築地市場、ゆりかもめ「汐留」下車徒歩 7 分、JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」下車徒歩 12 分



**6 葛西臨海公園**

園内の展望広場の大きな花壇では面積約 2,800 m<sup>2</sup>の菜の花畑があり、一面黄色く咲き誇ります。クリスタルビューを背景に、空の青色と菜の花の黄色の美しいコントラストをお楽しみいただけます。

☎ 03-5696-1331  
 JR 京葉線「葛西臨海公園」下車徒歩 1 分  
 東京メトロ東西線「葛西」もしくは「西葛西」から都バス葛西臨海公園行きで約 20 分、終点下車徒歩 1 分

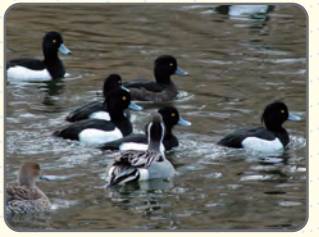
## 『東京が好き！キンクロハジロ』

井の頭自然文化園 池田 正人

キンクロハジロという水鳥をご存知ですか？都会でも身近な所にいるのに、多くの方々には単にカモとしか認識されていないようです。しかし、金色の眼に真黒い頭、雄にはちょん髭のような冠羽。良く見るとおなじみのカルガモなどとは行動や姿形がかなり異なります。

カルガモやマガモなどは、水に浮いていても滅多に潜ることはありませんが、“カルガモ親子のお引っ越し”でも知られているようによく陸上を歩きます。餌は、陸上や水面あるいは首を水中に突っ込んで水中のものをあさりします。一方、キンクロハジロやスズガモなどはいわゆる「潜水ガモ」とか「海ガモ」と呼ばれ（これに対し、マガモなどは「淡水ガモ」と呼ばれる）、主に潜って餌を探ります。そのため、水中で泳ぎやすいよう淡水ガモにくらべて足がお尻寄りにあり、大きさの割に体重も重めです。しかし、体が重いということがあだとなり、「淡水ガモ」はその場で飛び立つことができるのに「潜水ガモ」は水面でかなりの距離を助走しないと舞い上がることができず、周りが開かれた大きな池や川でしか見ることができません。

初めの方でこの鳥が身近な所にいると書きましたが、実は東京都は、渡り鳥であるキンクロハジロの東日本における有数の飛来地になっているのです。特に都市公園や庭園の池は彼らの重要な受け皿になっています。今年 1 月 12 日に実施した井の頭池でのカモ類の調査でもオナガガモ、カルガモに次いで 3 番目に多い 22 羽が確認されました。とは言え、2005 年には 200 羽近く見られたものの、年々減少の一途をたどっています。いま、キンクロハジロが都市における自然環境とは何かを問いかけていような気がします。



## ～動物園の“かお”～

多摩動物公園 アフリカゾウの「砥夢(トム)

昨年 1 1 月に、愛媛県立とべ動物園から来園しました。ぜひ会いに来てください！(来園時 3 歳 7 ヶ月)



撮影日 2012年12月7日